

## 8 共同利用・協同観測・研究交流

### 8.1 ドームレス太陽望遠鏡 (DST)

#### 8.1.1 共同利用

公開期間: 4月27日-7月31日、9月14日-12月11日 (約6ヶ月)

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計86日間 (約16週)

利用者 (実施順):

米谷拓朗、加藤友梨、沢村浩平、山本大二郎 (茨城大学) 計5日間

「飛騨 DST を用いた光球・彩層の磁場発展と黒点の生成・成長過程」

萩野正興 (国立天文台) 計12日間

「狭帯域チューナブル・フィルターを用いた偏光観測」

三浦則明、大石明 (北見工業大学) 他 計21日間

「multi-conjugate 補償光学実験」

「post-AO 画像処理手法の開発」

當村一朗 (大阪府立大学工業高専) 計10日間

「高速度カメラを用いた彩層活動現象の高速時間変動の観測」

加藤友梨、野澤恵、米谷拓朗 (茨城大学) 計5日間

「狭帯域チューナブルフィルターを用いたエラーマンボムの観測」

川手朋子 (クィーンズ大学ベルファースト) 計13日間

「ヘリウム輝線の分光観測による太陽フレア中の彩層プラズマの応答」

安藤繁 (東京大学)、桜井隆、花岡庸一郎、森田諭 (国立天文台) 計5日間

「時間相関イメージセンサを用いた、シーイングによる像劣化の回復及び  
高精度偏光観測の試験」

竹田洋一 (国立天文台) 計5日間

「太陽面中心～周縁分光観測に基づく大気中マクロ乱流速度場の研究」

末松芳法 (国立天文台)、吉田正樹 (総合研究大学院大学)、野澤恵 (茨城大学) 計5日間

「太陽2次元面分光観測装置による活動領域の分光観測」

花岡庸一郎 (国立天文台) 計5日間

「H $\alpha$  など彩層吸収線の分光偏光観測による偏光生成層の物理の研究」

#### 8.1.2 他大学向け観測教育実習

(のべ17日)

5月10日-5月15日

”茨城大学4回生 太陽分光観測実習 (第1班)”

5月31日-6月5日

”茨城大学4回生 太陽分光観測実習 (第2班)”

11月9日-11月13日

”茨城大学3回生 太陽観測実習”

### 8.1.3 国際・国内協同観測

(のべ12日)

8月17日–8月23日

”彩層ジェットの高空間・高波長分解能観測”

with Fuxian Solar Observatory, China and HINODE satellite (HOP0291)

12月17日–12月21日

”For the scientific verification of ALMA solar chromospheric data”

with Atacama Large Millimeter/sub-millimeter Array (ALMA),  
HINODE and IRIS satellite (HOP0276)

## 8.2 外国人及び外国在住日本人研究者来訪

- ・ Ahmed A. Ibrahim  
King Saud University (サウジアラビア)  
2月26日–2月28日(京都)  
CHAINプロジェクトサウジアラビア拠点開設と今後の共同研究に関する打ち合わせ
- ・ Christoffer Karoff  
(デンマーク)  
3月4日–5日(京都)  
セミナー”Activity of superflare host stars”
- ・ Denis Cabezas  
ペルー地球物理学研究所 (ペルー)  
3月7日–3月8日(花山)  
CHAINプロジェクトで得られたデータに対する論文執筆のための  
ミニワークショップに参加
- ・ Karl-Heinz Rädler  
Astrophysical Institute Potsdam (ドイツ)  
4月1日–4月3日(京都)  
セミナー”Mean-field dynamos: the old concept and some recent developments”
- ・ Sachiko Tsuruta  
Montana 大学 (アメリカ)  
6月10日(京都) MHD セミナーに出席
- ・ Jin ZhenYu, Xu Zhi, Yuan Shu, Liu Guangqian and Li Zhenggang  
Fuxian Solar Observatory, Yunnan Observatory, CAS (中国)  
8月17日–8月22日(飛騨)  
太陽望遠鏡の視察と DST 国際協同観測への参加
- ・ Noosin Jamshidi  
(イラン)  
9月21日–(飛騨)